

1 単元名 長浜ウォークラリーを作り、長浜の地域についてもっと知ってもらおう！

2 概要

地域の良さに気づき、体験活動を通して、他学年や地域の方々に見つけた良さを、もっと良くするための工夫を伝えていく。

野外活動で楽しんだウォークラリーを自分たちで作りたいという児童の思いから、長浜ウォークラリーを作成する活動に取り組む。体験した人が長浜の魅力を再発見したり、地域の人とのつながりを作るきっかけになったりするように、コースや問題を工夫する。六送会で実施し、体験者から感想等をもらって、自分たちのプロジェクトを振り返る。

3 目標

「ウォークラリー」の作成、実施を通して、長浜の地域の自然や施設、そこにくらす人々の願いを知り、良さに気づき、もっと好きになるために自分たちにできることを考え、取り組むことができる。

4 単元で育成を目指す資質・能力

学びに向かう力	課題発見・解決力	自己効力感
・地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、お互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動を考え、自ら社会に参画しようとする態度。	・地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力。 ・考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力。	・自分や地域の良さについて考え、自分や友達の探究を振り返り、良さに気付く力。

5 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①地域の自然や施設について、それらが何のためにあるものなのか、それらの魅力が何なのかについて理解している。 ②調査活動を、目的や対象に応じて実施している。	①課題の解決に向け、何をするのか、何のためにするのかを意識し、解決の見通しをもって計画を立てている。 ②相手意識を持ち、対象に適した問題や地図になっているのかを考えながら作成している。 ③活動を通して学んだ自らの思い、自己の成長、学びによる自己の変容をまとめ、表現している。	①課題解決に向けて、自分が選択した方法で探究活動に取り組もうとしている。 ②自分と違う意見や考えの良さを生かしながら協働して学び合おうとしている。 ③地域とのかかわりの中で自分にできることを見つけようとしている。

6 単元計画 全30時間

次	時数	○学習活動 ・予想される児童の意見	知	思	主	評価方法
	2	2学期の総合的な学習の時間に探究したいことを考える。 ○やってみようを出し合う。			③	・行動観察 ・発言内容

一	<ul style="list-style-type: none"> ・野外活動で体験したウォークラリーを作りたい。 ・長浜の地域の良さが分かるような活動をしたい。 						
二	<p>ウォークラリーを作る計画を立てる。</p> <p>○必要なものは何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の地図、コマ図、設定時間、問題 等 <p>○どのように作っていくか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図担当、問題担当などに分かれる。 		①	①	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・制作物 ・ふり返り 		
二	<p>地図や問題を作る。</p> <p>○ウォークラリーで必ず通ってほしい場所を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園、公民館、天當神社は通ってもらいたい。 <table border="1" data-bbox="239 672 1145 1249"> <tr> <td data-bbox="239 672 683 1249"> <p>【地図班】</p> <p>○全体地図を作る。</p> <p>○コマ図を作る</p> <p>○時間設定を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長浜の魅力を感じてもらうために全地域を回った方がいい。 ・安全に活動してもらうためにできるだけ歩道のある道を選ぶ。(Google map を活用) </td> <td data-bbox="683 672 1145 1249"> <p>【問題班】</p> <p>○必ず通る場所の問題を作る。</p> <p>○他の場所の問題を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設や場所に関する問題にしよう。 ・その場で分かることがいいね。 ・天當神社の記念碑に関する問題を考えたい。 ・どんな年齢の人にも楽しんでもらいたい。 ・難易度や種類もいろいろなものにしたい。 </td> </tr> </table>	<p>【地図班】</p> <p>○全体地図を作る。</p> <p>○コマ図を作る</p> <p>○時間設定を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長浜の魅力を感じてもらうために全地域を回った方がいい。 ・安全に活動してもらうためにできるだけ歩道のある道を選ぶ。(Google map を活用) 	<p>【問題班】</p> <p>○必ず通る場所の問題を作る。</p> <p>○他の場所の問題を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設や場所に関する問題にしよう。 ・その場で分かることがいいね。 ・天當神社の記念碑に関する問題を考えたい。 ・どんな年齢の人にも楽しんでもらいたい。 ・難易度や種類もいろいろなものにしたい。 	①	②	②	
<p>【地図班】</p> <p>○全体地図を作る。</p> <p>○コマ図を作る</p> <p>○時間設定を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長浜の魅力を感じてもらうために全地域を回った方がいい。 ・安全に活動してもらうためにできるだけ歩道のある道を選ぶ。(Google map を活用) 	<p>【問題班】</p> <p>○必ず通る場所の問題を作る。</p> <p>○他の場所の問題を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設や場所に関する問題にしよう。 ・その場で分かることがいいね。 ・天當神社の記念碑に関する問題を考えたい。 ・どんな年齢の人にも楽しんでもらいたい。 ・難易度や種類もいろいろなものにしたい。 						
二	<p>作ったルートを歩き、改善し、完成させる。</p> <p>○気を付けることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な道か確認したい。 ・場所と問題があっているか確かめたい。 <p>○気づきをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険なところが○つあった。 ・新しい問題のヒントを見つけた。 ・距離をかえてみるのもいいかも。 <p>○改善点を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車の通りが多いから変えた方がいいと思う。 ・～だからこの問題が良いと思った。 <p>○地図や問題を改善する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルートにあった問題を追加するよ。 <p>○必要に応じて試行したり、再調査を行ったりする。</p>	②	① ②	①			

三	2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">長浜ウォークラリーを誰にしてもらうか考える。</div> ○長浜ウォークラリーをいつ実施するか考える。 ・六年生を送る会で長浜小学校のみんなにやってもらいたい。 ・六年生に喜んでもらえる、思い出に残るウォークラリーにしたい。 ・二学期に作ったウォークラリーを六送会バージョンに変えたい。	①	①	・行動観察 ・制作物 ・ふり返り
	9	○六送会の実施に向け必要な準備をする。 ・ルール説明，チーム分け，準備物 等 ○六送会で全校児童に体験してもらう。	②	②	
	2	○アドバイスや感想から，プロジェクトをふり返り，自己の成長を確認する。	③	③	

7 本時の展開（13／30）

学習活動 ○主な発問例	○留意事項 ・予想される児童の発言	○評価基準 ・評価方法
1. 前時を振り返り，本時の学習活動を確認する。 ○前回，実際に歩いたときに改善すべき点がたくさん見つかったと思うので，どのように直していくか考えます。	○改善する際に重要視するポイントをおさえておく。 (1) 安全面 (2) 相手意識	○課題の解決に向け，何をするのか，何のためにするのかを意識し，解決の見通しをもって計画を立てている。 ・行動観察
2. 長浜ウォークラリーの改善点をグループで検討する。	○たくさんの意見を出すため4～5人のグループを作り，話し合いをし，google スライドに書き込む。 ・歩道のない場所があって危険。 ・休憩のできそうな場所がなかったから心配。	
3. グループの意見を共有し，改善案を考える。 ○各グループの考えた課題・改善策について考えましょう。	○同じような課題・改善策が出ることが予想されるため，どのグループがどんな意見を持っているか確認しておき，ファシリテートする。 (クラス全体を巻き込む) ○1つの課題に対して改善策が複数出た場合は，全体で吟味する。	

8 ルーブリック

資質・能力	A	B	C
思考・判断・表現	課題の解決に向け，何をす	課題の解決に向け，何をす	課題の解決に向け，何をす

	るのか、何のためにするのかを意識し、多面的・多角的に考え、解決の見通しをもって計画を立てている。	るのか、何のためにするのかを意識し、解決の見通しをもって計画を立てている。	るのか、何のためにするのかを意識し、計画を立てている。
--	--	---------------------------------------	-----------------------------